

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	真岡市こども発達支援センターひまわり園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	98名 (児発53名、放デイ27名、保訪問18名)	(回答者数)	39名 (自発11名、放デイ15名、保訪問13名)
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>児童発達支援事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子通園(未就園や低年齢対象)では、家族も子どもの発達特性や療育について知識を深めることができる。 ・子どもの成長や良い所を職員や他の保護者と共感し実感できる。同じ境遇の保護者同士、共感したり相談する機会がある。また、食事支援を行っており、偏食や食に関する悩みに対して相談、支援を受けられる。 ・幼稚園併用児対象の集団療育がある。 ・理学療法士、作業療法士、公認心理師、言語聴覚士による個別療育が受けられる。 ・体育館や感覚統合室等があり、天気に左右されず、体を伸び伸び動かせる環境が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に療育について理解してもらうために、月1回の療育体験会を実施している。 ・集団療育では、小集団での簡単なルール遊びや一斉指示の練習を行っている。 ・個別療育では、専門職による療育が受けられる。また、集団の中でも療育を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期療育が広められるように4町にも療育体験の周知をする。 ・個別療育が受けられる時間を増やす。
2	<p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館があるため、体を動かせる場所がある。 ・部屋の数が多いため、それぞれ好きな遊びを見つけて過ごすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題に対しては個別で対応している。 ・いろいろな場所で職員が対応できるように配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の好きな遊びや楽しく過ごすことができる活動内容を考える。
3	<p>保育所等訪問支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職が対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当は決まっているが、いろいろな職種からの視点から支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応が難しいケースはケース会議を開催し、支援方法を見つけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	真岡市の利用者数が多く、4町の利用者が少ない。	1市4町のいずれかの中で市街地から離れている。	ひまわり園に通いにくい保護者に対しては保育所等訪問支援事業など利用しやすいサービスを提供していく。
2	療育時間が短い。	1日にいろいろな年齢にあったクラスを設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの個々にあった支援方法を考え、療育の質をあげていく。 ・集団療育、個別療育に分けて専門職の療育が受けられる機会を増やす。 ・送り迎えのときに保護者の相談にのったり、療育をした担当職員が丁寧にフィードバックできる時間を作る。
3			